

# 第88回平和憲法を守る 神奈川県民集会

「紀元節」復活＝「建国記念の日」に反対し、今、改めて「皇民」化教育を問う

## 関東大震災朝鮮人虐殺の史実から今を問う ヘイトに向き合う

関東大震災。流言による朝鮮人・中国人虐殺が横浜の地でおこった。あれから100年、コロナ禍で横浜中華街には、中傷の電話や手紙、メール、落書きなどが相次いだ。「中国人は早く日本から出ていけ」「ウイルスを広げるな」など事実無根の攻撃が数十件に上った。さらにSNS上には数えきれない非難やデマが流れ、2年間にわたって続いた。在日コリアンが多く暮らす京都府宇治市のウトロ地区で倉庫が放火され、住宅など7棟が全半焼した。この事件でもネット上の誤った情報、流言を読んで一方的に不満を募らせ、犯行に及んでいた。街宣や選挙演説の名を借りた差別扇動による人権侵害、ヘイトスピーチが神奈川県内で続いている。政府は、歴史的事実を公式に認めず、長年の研究によって実証されている事実を意図的にねじ曲げ、自分たちに都合のよいうその歴史を広めようとしている。日頃からの差別意識を背景に強い不安や恐怖、行き場のない怒りが、理不尽に外国人など少数者に向けられるという、100年前の惨事と共通する「弱さ」を私たちの社会が抱えていることを認めざるを得ません。今こそ、横浜でおきた朝鮮人虐殺の史実を直視し、あらゆるヘイトに対抗する社会を作っていくことが、ともに生きる社会、平和憲法を守り、再び戦争への道を歩まないために必要です。多くの皆さまの参加を呼びかけます。

日時 2月11日(日) **16:30～** (開場 16:15)

場所 県民サポートセンター604

(JR横浜駅西口より 徒歩5分)

講師 後藤 周(研究者・元横浜市立中学校教員)

※資料代・会場費 500円 開催協力券(300円)で参加できます。



## 主催 かながわ平和憲法を守る会

代表委員 呉東 正彦(弁護士・原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会共同代表)  
大波 修二(大和市議会議員・第五次厚木基地爆音訴訟原告団長)

連絡先 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンター内238

問い合わせ TEL 090-11056980 e-kaihou@ezweb.ne.jp e-kaihou@nifty.com  
090-98181629 守る会

090-25420413 吉田 akira-yo.manabu@docomo.ne.jp